



# 河中だより

- 実力を養う
- 友愛を深める
- 品性を高める

《第6号》

2017年9月8日発行  
宇都宮市立河内中学校

## ○39日間の夏休み：子供たちがたくましく成長して戻ってきました。

39日間の夏休みが終了し2週間が経ちました。子供たちは全員元気に学校の生活に戻り、落ち着いて学習や運動に取り組んでおります。休み中、地域の皆様や保護者の皆様には、様々な形で子供たちを見守り、声掛け等をして頂いたことに感謝申し上げます。色々な経験を積んで学校に戻ってきた子供たちは、心も体も一段と成長したように感じられます。これから学校は1学期のまとめの時期となり、期末テストなども行われましたが、部活動では新人大会が行われたり、生徒会の役員選挙が行われたりと、学校の主役が3年生から2年生へと変わる時期でもあります。3年生はいよいよ具体的な進路選択の時期になりますので、一人ひとりにできる限りの支援をして、進路の実現を目指してまいります。

## ○関東や全国大会、世界大会で大活躍する本校の生徒たち

本校の生徒たちは、この夏休みに関東や全国大会、または世界大会で大活躍しました。テニス部3年生の小平慶斗さん・田代陽己さんペアは、関東大会で見事ベスト8に入賞し、長崎県で行われた全国大会に出場し2回戦まで進出しました。同じく3年生の増子未結さんは、埼玉県で行われた「夏季ジュニアテニストーナメント16歳以下」で見事準優勝に輝きました。同じく3年生の横山陽樹さんは、米国で開かれた「2017世界少年野球大会」に日本代表として出場し、捕手で4番というまさに中心選手としてフル出場を果たし、米国や韓国、メキシコなどを破り、見事世界一に輝きました。



小平慶斗さん 田代陽己さん



増子未結さん



横山陽樹さん

## ○クリーン活動：大変お世話になりました。

8月26日（土）に行われたクリーン活動は、学年部の保護者の皆様のご協力のもと、早朝より保護者や地域協議会の皆様、生徒たちや本校職員、総勢約520名で、本校校庭の除草作業を行うことができました。おかげ様で夏休み明け、きれいな環境で学校生活を開始することができました。8月最終週のこの行事は、久しぶりに先生と生徒が顔を合わせることができ、夏休み気分を切り替え、学校生活に戻るよい機会となっています。



## ○いじめゼロ集会：いじめは「なくなるもの」ではなく「なくすべきもの」

9月8日（金）に今年度2回目の「いじめゼロ集会」を行いました。各学級の生活委員が、いじめをなくすための今までの取り組みと成果、今後の課題などを順に発表しました。後半は、いじめを受けて不登校になってしまった小林 凜さんの著書「ランドセル排人の五・七・五」の俳句を例に、いじめの悲惨さについて考えました。集会中全員が各学級の生活委員や生徒指導主事の先生の話に聞き入り、いじめゼロに向けて真剣に考えることができました。

